

# 様式 1 1

## 指定管理者の評価に係る合議の概要

<b>施設名</b>	箕面市立障害者自立支援センター（あかつき園・ワークセンターささゆり）
<b>指定管理者名</b>	社会福祉法人あかつき福祉会
<b>開催日</b>	令和元年（2019年）10月28日（月）
<b>開催場所</b>	箕面市立総合保健福祉センター2階 3,4会議室
<b>合議の出席者</b>	箕面手をつなぐ親の会 副会長 名瀬 須和子氏 箕面市肢体不自由児者父母の会 千馬 外代美氏 箕面市障害者市民施策推進協議会 座長 岡本 直美氏

【概要】別添のとおり

内容

令和元年10月28日(月)に箕面市立総合保健福祉センター2階3、4会議室にて、指定管理者の合議を実施いたしました。その中で合議メンバーより以下のような意見がありました。

(障害福祉室の説明：「市」、指定管理者の説明：「指」)

1) 利用者アンケートについて

- アンケートの自由記述に対する回答はどのように行うのか。

指：利用者の保護者会などを通じて回答する。

- アンケート中に「個別支援計画は、本人の同意のもと作成されていますか」と質問項目があるが、利用者本人の意思をアンケートに回答する家族が確認できないことが多いため、回答が「分からない」となる。今後は書き方を変えてはどうか。

市：検討する。

2) 指定管理事業について

- 車両事故の件数が多いが、理由は何か。

指：大型車両のため車体側面を擦ることが多い。毎月ドライバーのミーティングでドライブレコーダーの映像で注意すべき運転の傾向を分析し、対応している。事故発生のドライバーが偏っているわけではない。

- 給食の異物混入等、利用者に関係する問題は、今後の対応方法を利用者全員に周知して欲しい。

指：検討する。

- 虐待防止チェックリストの効果はでているのか。

指：平成28年度から年2回職員がリストに従って自己チェックを行っており、毎度チェック内容の変化を比較分析し職員へフィードバックしている。今後も継続することで、各職員の意識を高めたいと考えている。

- 個別支援計画作成のための面談は、そもそも利用者全員が受けるものである。現在の周知の仕方は、受けたい人だけが受けるという風に見えるため、周知の仕方を変更して欲しい。

指：検討する。

- ヒヤリハットの報告件数はどのようにして増えたのか

指：ヒヤリハットとはそもそもどの程度のことを言うのか意識を共有し、日々の業務中の動きや振り返りを行うことで、件数が増加した。

- 今後ヒヤリハットの報告データは前年度と比較し、どのように改善または変

# 様式 1 1

化したのかを示して欲しい。

指：検討する。

## 3) 総評

合議メンバーからは、総評として以下の意見が出されました。総じて指定管理者として円滑な施設運営を行っている、市として評価します。

アンケート結果は好評であり、以前からサービスの質の高さがうかがえる。現状に甘んじることなく、利用者の声を集め、よりよいサービスに繋げるための研修や振り返り、人材育成に努め、今後の活動に活かして欲しい。